# 令和３年度　コミュニティ提案型まち活性化事業
# 活用事業のご紹介

## １　はじめに

■佐久穂町では、コミュニティ団体が主体となり企画実施する、まち活性化事業に対し、補助金を交付しています。

■令和３年度「コミュニティ提案型まち活性化事業補助金」を活用し、コミュニティ団体が提案・実施した、まちの活性化を図る事業の概要を３つご紹介します。

■皆さんも様々なコミュニティの一員として、ご自身のこれまでの経験や保有する人脈、蓄積されたノウハウ等をまち活性化のために活かしてみませんか。皆さんのアイデアややる気を実現するための事業の提案をお待ちしています。

■本内容は、事業実施団体から提出された事業提案書、実績報告書等の内容に基づき総合政策課が作成したものです。

| 補助金の種類 | 補助率・限度額・補助回数 |
|---|---|
| (１)チャレンジ部門　　(新規設立団体向け)<br>「何か始めてみよう」という団体の皆さんにまちづくりへの参加のきっかけを得てもらうことが目的です。<br>新規に団体を設立し、事業を実施する場合が該当し、具体的には申し込み時点から起算して設立１年以内の団体を対象とします。 | 補助率：10/10 以内<br>限度額：20 万円<br>補助回数：１団体１回限り |
| (２)ステップアップ部門　(既存団体向け)<br>すでに活動している団体の皆さんに、さらに力を伸ばしてもらうことが目的です。既存事業の発展や新たな事業の確立等段階的にステップアップするための取組が該当します。 | 補助率：1/2 以内<br>限度額：20 万円<br>補助回数：１事業３回まで |
| (３)集落部門　(区、常会向け)<br>佐久穂町内の区や常会が、地区の問題点や課題、将来の姿、集落で具体的に取り組むこと等検討し将来計画を策定することが目的です。地区の役員だけでなく、女性や若者を交えての計画策定が該当します。 | 補助率：10/10 以内<br>限度額：５万円<br>補助回数：１団体１回限り |

## ２－１　事業紹介（１）

| | |
|---|---|
| 事業名 | あははの輪事業 |
| 団体名 | れい輪の会 |
| 団体区分 | 地域コミュニティ |
| 事業区分 | ステップアップ部門（１回目） |

### 事業目的

○コロナ禍で自宅に居る時間が多くなり、人と人との交流がなくなってきており、フレイル予防としてこの事業を実施する。

○地域リーダーの育成を図るとともに、健康と福祉の増進及び会員相互の情報交換と地域コミュニティに積極的に参加し、子供から高齢者まで笑顔でいきいきと、年齢を重ねられるよう活動する。

### 事業内容

○コロナ禍のフレイル予防として、屋内のストレッチ体操や屋外のウォーキング、筋力アップに努める。

○社協と連携し、地域サロンの講師として、脳の活性化、体力づくりや生きがいづくりにつながる様なゲームを行い、仲間との交流を深める。

〇ボランティア活動として、災害後の田んぼの石拾いや、中学生の福祉体験の補助、奥村土牛美術館での虚弱老人の見守り活動に参加協力する。

### 事業効果

〇脳活性化や体力づくりが、健康寿命を伸ばすことにつながった。

〇各地区やサロンにも参加し、会員の連帯感や仲間意識が高まった。

リズム体操

四ツ谷サロン

## ２－２　事業紹介（２）

| | |
|---|---|
| 事業名 | プレイパークさとやまモリニティ |
| 団体名 | MORINITY |
| 団体区分 | 課題テーマ共有コミュニティ |
| 事業区分 | ステップアップ部門（１回目） |

### 事業目的

○昔は当たり前であった「子ども達の自由な遊び場」の再構築を行う。

○野外活動を通じて、野外での出会いや感性への刺激を体験してもらう。

### 事業内容

○地域の森を利用してプレイパークの実施

○地域の方を講師とした手仕事等のワークショップの実施

### 事業効果

○参加する子ども達の仲間関係が確立され、再会を楽しみにする声が聞かれた。

○大人の参加は、我が子だけでなく、地域の大人としても参加していただき、「小さな社会」を感じることができた。

〇地域の高齢者の方が参加してくださった。

## ２－３　事業紹介（３）

| | |
|---|---|
| 事業名 | 寺子屋 DONGRING |
| 団体名 | こども自然学習 LABO |
| 団体区分 | 課題テーマ共有コミュニティ |
| 事業区分 | チャレンジ部門 |

### 事業目的

○子ども達の放課後に「身近な世界の面白さとの出会い」を提供する。

○友達とオンラインゲームなどで遊ぶ機会が増えているため、アナログツールでの遊びの楽しさや学校を越えた交流の場を作りだす。

○地域の面白い大人と出会う機会を作り、地域の魅力を知ることにつなげる。

### 事業内容

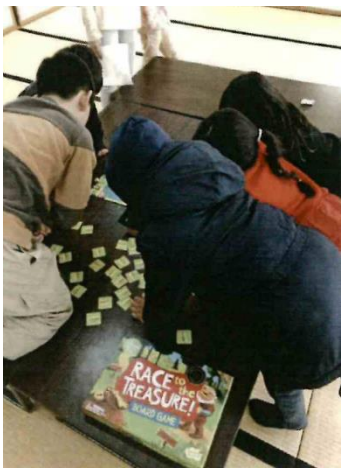
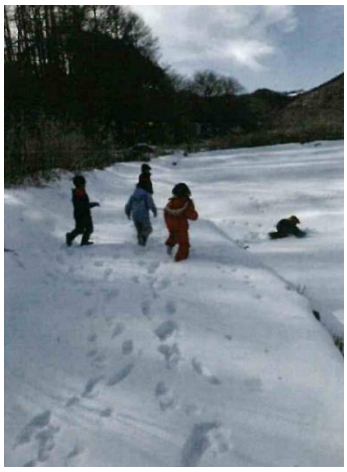
○子どもを対象として、アート、クラフト、探検、音楽、実験、運動などの「遊びプログラム」を行う。

○地域の魅力的な人材に講師として参加していただく。

○保護者にも「より良い子育て」や「子ども達の免疫力を高める」という内容で勉強会を実施する。

### 事業効果

○プログラムを通じて、子どもたちの思考力、表現力、企画力、交渉力、共感力、実行力などの育成に繋げることができた。

○公立小中学校、大日向小中学校、ちいろばの杜の子ども達にとって、交流の場、第三の居場所となった。

○保護者にとっても、学校を越えた情報交換、学び、結びつきの場となった。